2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　株式会社 パイオラックス　　上場取引所　東
コード番号　　5988　　ＵＲＬ　https://www.piolax.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）山田　聡
問合せ先責任者　（役職名）管理本部経理部長　　（氏名）福田　俊宏　　ＴＥＬ　045-577-3880
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　2026年12月１日
決算補足説明資料作成の有無：　有
決算説明会開催の有無　　：　有　　（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	31,998	6.4	739	△12.5	899	14.2	310	△28.7
2026年３月期中間期	30,060	△5.9	845	△33.5	787	△56.4	435	△64.5

（注）包括利益　　2027年３月期中間期　　1,856百万円　（－%）　　2026年３月期中間期　　△1,885百万円　（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	12.91	－
2026年３月期中間期	16.49	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	101,126	66,113	64.1
2026年３月期	101,415	66,144	63.9

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　　64,797百万円　　2026年３月期　　64,854百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	39.00	－	53.00	92.00
2027年３月期	－	39.00			
2027年３月期（予想）			－	53.00	92.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	1.5	1,500	2.0	1,500	3.2	700	－	27.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：　無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有

（注）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	無
④　修正再表示	：	無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	37,054,100株	2026年３月期	37,054,100株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	13,176,334株	2026年３月期	12,787,708株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	24,056,896株	2026年３月期中間期	26,427,320株

（注）１．当社は、役員向け株式報酬制度を導入しており、信託に残存する自社の株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（前中間連結会計期間　87,376株、当中間連結会計期間　77,546株）

２．当社は、従業員向け株式報酬制度を導入しており、信託に残存する自社の株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（前中間連結会計期間　63,919株、当中間連結会計期間　60,566株）

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（参考資料） …… 11

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の増加を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、エネルギー価格や原材料価格の高止まり、物価上昇による個人消費への影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。世界経済につきましても、AI関連需要の拡大や各国の設備投資需要に支えられ底堅く推移しているものの、為替相場の変動、エネルギー価格の高止まり及び地政学リスクの高まりなどにより、経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、国内市場における需要は底堅く推移したものの、主要取引先である日系自動車メーカーでは、一部市場における競争環境の激化や生産調整、さらには自然災害の影響等により、生産台数は前年同期を下回る状況で推移するなど、厳しい事業環境が続きました。

このような需要環境のもと当社グループといたしましては、お取引先からのニーズを的確に捉え、日系のお取引先に加え非日系のお取引先にもグローバルに拡販活動を継続的に推進したことに加え、円安による増収効果もあり、売上高は31,998百万円と前期比1,937百万円（6.4%）の増収となりました。

一方利益面におきましては、増収効果はあったものの、原材料・部品価格の上昇や人件費、物流費等の各種コスト増加の影響を吸収しきれず、営業利益は739百万円（前期比12.5%減）となりました。また、前年同期に計上した支払手数料が当期は発生しなかったこと等により、経常利益は899百万円（前期比14.2%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は310百万円（前期比28.7%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

（自動車関連等）

グローバルな拡販活動を推進したことに加え、円安による増収効果もあり、売上高は29,175百万円（前期比6.0%増）となりました。一方利益面においては、収益改善活動をグループ一丸となって推進いたしましたが、原材料・部品価格の上昇や人件費、物流費等の各種コスト増加の影響を吸収しきれず、営業利益は1,069百万円（前期比17.4%減）となりました。

（医療機器）

拡販を積極的に推進いたしました結果、売上高は2,822百万円（前期比11.6%増）となりました。利益面では、材料費高騰や為替変動の影響を受けたものの、増収効果等により営業利益は167百万円（前期比99.9%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の資産合計は、有形固定資産の減少等により288百万円減少し、101,126百万円となりました。

負債合計は、短期借入金の減少等により257百万円減少し、35,013百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金の減少等により30百万円減少し、66,113百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は、税金等調整前中間純利益899百万円及び減価償却費2,145百万円等の収入要因に対し、有形固定資産の取得による支出1,042百万円等の支出要因の結果、前連結会計年度末と比較して1,876百万円（8.2%）増加し、当中間連結会計期間末には24,649百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費の増加及び売上債権の減少等により、3,949百万円の収入（前期比167.8%増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により373百万円の支出（前期比91.8%減）となりました。

なお、営業活動により得られたキャッシュ・フローと投資活動により使用したキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、3,576百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い及び自己株式の取得による支出等により2,154百万円の支出（前期比57.0%減）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2026年５月12日の「2026年３月期 決算短信」で公表した数値から変更しておりません。

なお、本業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,192	27,917
受取手形及び売掛金	12,925	12,734
電子記録債権	1,815	1,806
有価証券	152	62
商品及び製品	6,681	6,608
仕掛品	2,661	2,562
原材料及び貯蔵品	3,286	3,206
未収還付法人税等	244	171
その他	4,282	3,504
貸倒引当金	△103	△122
流動資産合計	58,140	58,452
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,995	15,604
機械装置及び運搬具（純額）	7,761	7,573
工具、器具及び備品（純額）	2,241	2,166
土地	5,942	5,934
リース資産（純額）	542	683
建設仮勘定	3,351	3,315
有形固定資産合計	35,836	35,278
無形固定資産		
その他	1,458	1,418
無形固定資産合計	1,458	1,418
投資その他の資産		
投資有価証券	4,670	4,979
その他	1,314	1,001
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	5,980	5,976
固定資産合計	43,275	42,673
資産合計	101,415	101,126

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,152	3,371
短期借入金	24,171	24,000
未払法人税等	279	357
引当金	852	838
その他	5,086	4,787
流動負債合計	33,541	33,354
固定負債		
役員株式給付引当金	150	52
株式給付引当金	46	40
退職給付に係る負債	485	529
資産除去債務	37	37
その他	1,008	998
固定負債合計	1,729	1,658
負債合計	35,271	35,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,960	2,960
資本剰余金	2,572	2,572
利益剰余金	74,625	73,641
自己株式	△29,381	△29,974
株主資本合計	50,777	49,200
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	906	1,123
繰延ヘッジ損益	△1	△2
為替換算調整勘定	13,213	14,514
退職給付に係る調整累計額	△41	△39
その他の包括利益累計額合計	14,077	15,596
非支配株主持分	1,289	1,315
純資産合計	66,144	66,113
負債純資産合計	101,415	101,126

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	30,060	31,998
売上原価	23,454	25,069
売上総利益	6,606	6,928
販売費及び一般管理費	5,760	6,188
営業利益	845	739
営業外収益		
受取利息	212	148
受取配当金	124	156
持分法による投資利益	－	2
その他	130	248
営業外収益合計	468	556
営業外費用		
支払利息	109	185
固定資産廃棄損	4	3
デリバティブ評価損	29	－
賃貸収入原価	3	2
為替差損	84	108
支払手数料	205	－
持分法による投資損失	0	－
その他	89	97
営業外費用合計	525	396
経常利益	787	899
特別損失		
早期割増退職金	251	－
特別損失合計	251	－
税金等調整前中間純利益	536	899
法人税等	99	567
中間純利益	437	331
非支配株主に帰属する中間純利益	1	21
親会社株主に帰属する中間純利益	435	310

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	437	331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	169	216
繰延ヘッジ損益	△1	△1
為替換算調整勘定	△2,491	1,306
退職給付に係る調整額	－	2
その他の包括利益合計	△2,322	1,524
中間包括利益	△1,885	1,856
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△1,858	1,830
非支配株主に係る中間包括利益	△27	25

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	536	899
減価償却費	2,052	2,145
持分法による投資損益（△は益）	0	△2
デリバティブ評価損益（△は益）	29	△62
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	51	59
賞与引当金の増減額（△は減少）	32	18
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	14	△97
株式給付引当金の増減額（△は減少）	6	△6
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1	22
受取利息及び受取配当金	△337	△305
支払利息	109	185
固定資産廃棄損	4	3
売上債権の増減額（△は増加）	△181	500
棚卸資産の増減額（△は増加）	45	497
仕入債務の増減額（△は減少）	216	7
その他	△535	421
小計	2,042	4,286
利息及び配当金の受取額	326	349
利息の支払額	△109	△183
法人税等の支払額	△785	△503
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,474	3,949
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△26	△2,618
定期預金の払戻による収入	1,158	2,820
有価証券の償還による収入	72	100
有形固定資産の取得による支出	△5,629	△1,042
投資有価証券の売却による収入	0	－
有形固定資産の売却による収入	53	159
無形固定資産の取得による支出	△190	△165
投資有価証券の取得による支出	△4	△0
その他	27	374
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,538	△373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	20,000	－
短期借入金の返済による支出	－	△168
自己株式の取得による支出	△23,072	△696
自己株式の処分による収入	－	103
配当金の支払額	△1,820	△1,293
非支配株主への配当金の支払額	△61	△27
その他	△54	△72
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,009	△2,154
現金及び現金同等物に係る換算差額	△766	454
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△8,839	1,876
現金及び現金同等物の期首残高	30,236	22,773
現金及び現金同等物の中間期末残高	21,396	24,649

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間（自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位:百万円）

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	27,530	2,529	30,060
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	27,530	2,529	30,060
セグメント利益	1,294	83	1,378

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位:百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,378
全社費用（注）	△537
セグメント間取引消去	6
その他の調整額	△2
中間連結損益計算書の営業利益	845

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位:百万円）

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	29,175	2,822	31,998
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	29,175	2,822	31,998
セグメント利益	1,069	167	1,236

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位:百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,236
全社費用（注）	△504
セグメント間取引消去	6
その他の調整額	0
中間連結損益計算書の営業利益	739

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

（参考資料）

［所在地別セグメント情報］

Ⅰ 前中間連結会計期間（自2025年４月１日 至2025年９月30日）

	日本（百万円）	北米（百万円）	アジア（百万円）	その他（百万円）	合計（百万円）	消去又は全社（百万円）	連結（百万円）
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	13,278	7,448	8,437	895	30,060	－	30,060
(2)セグメント間の内部売上高	2,182	62	644	1	2,890	△2,890	－
計	15,461	7,511	9,081	896	32,951	△2,890	30,060
営業利益又は営業損失（△）	569	573	329	△88	1,383	△537	845

Ⅱ 当中間連結会計期間（自2026年４月１日 至2026年９月30日）

	日本（百万円）	北米（百万円）	アジア（百万円）	その他（百万円）	合計（百万円）	消去又は全社（百万円）	連結（百万円）
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	13,789	8,314	8,824	1,070	31,998	－	31,998
(2)セグメント間の内部売上高	2,420	61	474	0	2,956	△2,956	－
計	16,209	8,375	9,299	1,070	34,954	△2,956	31,998
営業利益	683	433	107	14	1,239	△499	739